

1. Who we believe we are is a result of the choices we make about who we want to be like.

【語句リスト】

a result of A:Aの結果

2. The more we focus on our ideas in a way that systematically ignores their objective origins, the more unreliable those ideas. (大阪教育大)

【語句リスト】

focus on A:Aに焦点を当てる in a way that S+V~:~なやり方で systematically:意図的に
ignore:~を無視する objective:客観的な origin:出所、起源 unreliable:信頼のおけない

3. ①What do a kimono dressing school, cooking school and singing school have in common? ②They are all places that 26-year-old Rei Nakagawa says she would never have gone to had she not read about them in Hot Pepper.

(横浜国大)

【語句リスト】

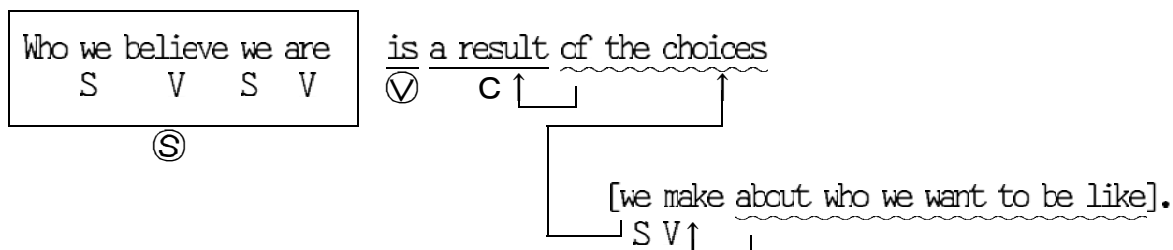
have A in common:Aを共有する Hot Pepper:ホットペッパー 無料のタウン情報誌

【解答&解説】

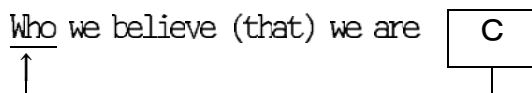
1.

【解説】

㊸は Who we believe we are、㊹は is で、a result がCのSVC構文。



㊸の Who ~ are だが、believe の後ろには接続詞の that が省略されており、元々は「自分はCだと信じている」という構文の(areの後ろにあった)Cが疑問詞の Who となって節頭に出た形。「自分は誰であるのか(何者であるのか)と思っているのか」と訳す。



we make 以下は(目的格の関係代名詞が省略された)関係詞節で、直前の the choices を修飾する「名詞+S+V～」の構造 (LESSON BOOK REVIEW Rule-52 を参照せよ)。

who we want to be like は「自分が誰のようになりたいのか」と訳す。この who は、元々前置詞の like(～のように)の目的語だったものが疑問詞の who となって節頭に出たとみる。

【解答】

「自分が誰であるのか[どんな人間であるのか]と思っているのかは、(自分が)誰のようになりたいのかということに関して、自らがなす選択の結果である」

2.

【解説】

骨組みは the+比較級 S+V~, the+比較級 S+V…(～すればするほどそれだけいっそう…)の構文。問題は後半部のVがないことなのだが、そのような場合は be動詞(又は become)をそこに補えばいい (LESSON BOOK REVIEW Rule-54 を参照せよ)。

【解答】

「私達が、その客観的な出所を意図的に無視するようなやり方で自らの考えに焦点を当てれば当てるほど、そうした考えは信頼のおけないものになる」

3.

【解説】

①

ここは have A in common という熟語がわからないと訳せない。Aにあたるのが What。直訳は「着付け教室、料理教室、歌の教室は何を共有しているのだろうか(→ 共通点は何だろうか)」。

②

They が㊸、are が㊹、all places がCのSVC構文で、thatは(後ろが不完全な文なので)関係代名詞。that節全体が all places を先行詞にとり、これを修飾している。問題は that節内の構造とその訳し方だ。that(関係代名詞)のうしろが「**S+Vt** S+V ~」という構造になってるのに気づいただろうか。

~ that 26-year-old Rei Nakagawa says she would never have gone~
 S **Vt** **S** **V**

これは連鎖関係詞節で、うまい訳し方は、「**S+Vt**」の部分をいったん()でくくってしまい、それを節内の和訳の最後にもってくることだった (LESSON BOOK REVIEW Ru1w-69を参照せよ)。

もう1つ問題なのは、she would never以下である。ここは仮定法で書かれていることに気づいたか。見極めの方法は

- 1.末尾にクエスチョン・マークもないのに had she と疑問文の語順になっている
- 2.節内に助動詞の過去形(would)が使われている

という2点だ。had she not read about them in Hot Pepper の部分は元々、

if she had not read about them in Hot Pepper

だった。そうすると関係詞節内全体は以下のような訳になる。

「もしホットペッパーでそれらについて読まなかったならば決して行くことはなかったらうと26歳のナカガワレイさんが言っている(ような場所)」

先程も言ったように「**S+Vt**」にあたる 26-year-old Rei Nakagawa says を節内の和訳の最後に回すのだ。

【解答】

「着付け教室、料理教室、歌の教室に共通するものは何だろうか。それらはどれも、もしホットペッパーでそれらについて読まなかったならば決して行くことはなかっただろうと26歳のナカガワレイさんが言っている場所である」